

2020大学院特別講義

医歯学先端研究特論・生命理工学先端研究特論
医歯理工学先端研究特論・生命理工医療科学先端研究特論

ビッグデータ解析としての Polygenic Risk Scoringの 有用性と限界

岡田 随象先生

大阪大学大学院 遺伝統計学・教授

Yukinari Okada, M.D., Ph.D

令和3年2月9日(火) 17:00～19:00

Zoomによるオンライン講演

受講希望者は2月8日(月)までに、
下記アドレスへご連絡ください。

先進倫理医科学分野の2020年度大学院特別講義は遺伝統計学のトップランナーである大阪大学の岡田先生にお願いしました。大学院生をはじめ多数の皆様のご聴講をお待ちしております。

【要旨】ポリジェニックリスクスコア(polygenic risk score; PRS)は、ヒトゲノム全体に分布する多数の遺伝子多型リスクと個人のゲノム情報を統合して得られる疾患発症予測スコアである。疾患ゲノム解析の大規模化はPRS予測精度の改善をもたらし、ゲノム個別化医療の社会実装の鍵と期待されている。一方、集団構造化に基づくPRS推定値のバイアスなど、臨床現場にPRSを導入する際の課題点も浮かび上がってきている。本講義ではPRSを巡る現状を報告したい。

先進倫理医科学分野 吉田 雅幸
(連絡先:生命倫理研究センター 藤井
admbec@tmd.ac.jp 内線 4724)